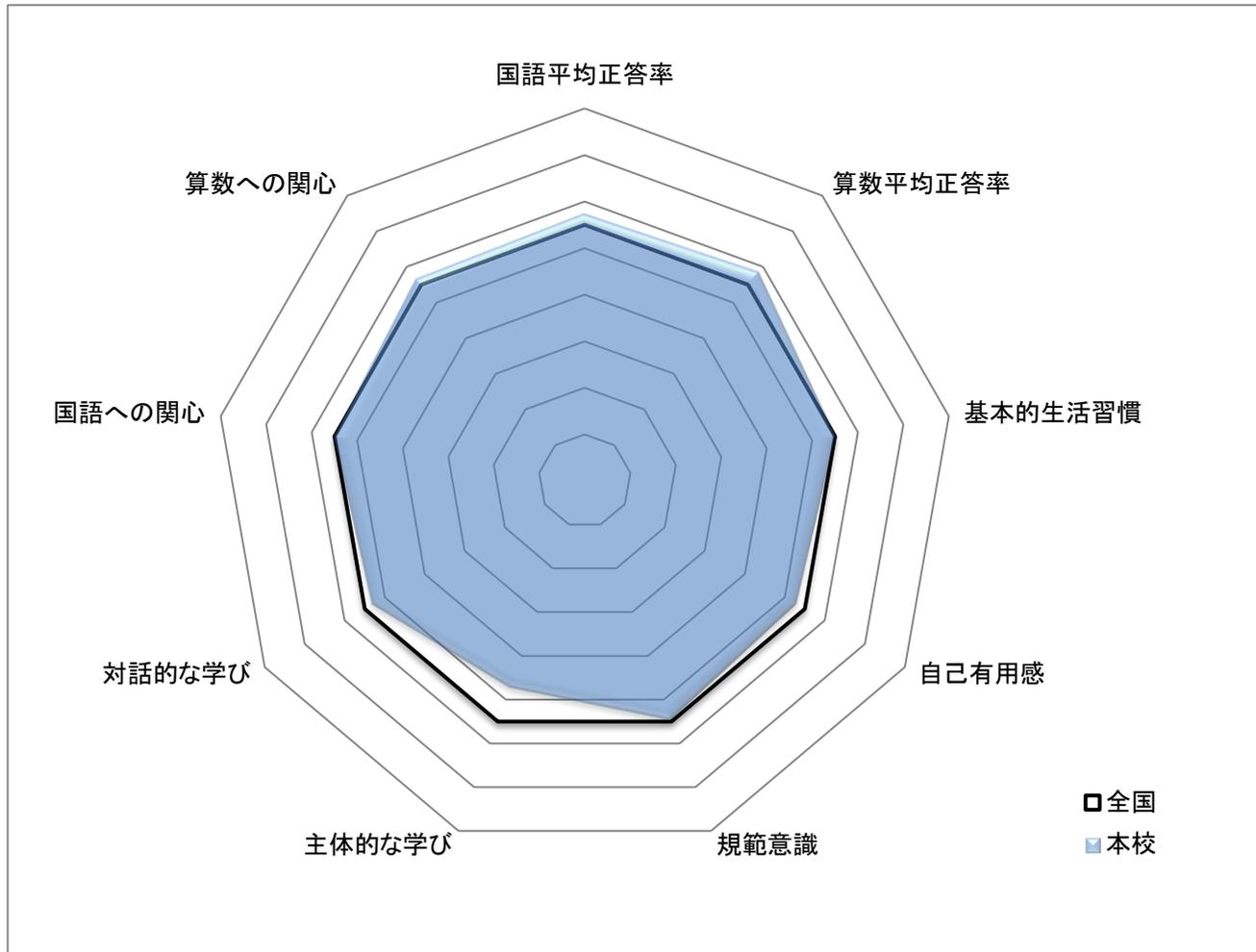


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・国語、算数は全国平均を、国語は都平均を上回る結果となりました。算数は都平均と同じポイントでした。
- ・主体的な学びにおいては、特に自分の意見や考えを表現することにおける肯定的回答が少ない結果となりました。
- ・自己有用感の項目では、全国よりもやや肯定的回答が少ない結果となりました。

⇒以上より、学ぶことの良さや充実感を得られるような授業改善が課題であると考えられます。

《授業改善のポイント》

児童の主体的な学びを実現していくことを通して、各教科の枠を超えて、学ぶ楽しさや良さを感じることができるようしていきます。

- ①児童が自ら課題を見出し、解決の過程を見通しながら学ぶことができるように、教師の適切な役割や支援策を明確にした授業を行います。
- ②知識・技能を確実に習得し、自分の考えを表現する力を育てるために、児童が身に付けた力をどう「活用」するかを視点に授業改善を進めていきます。
- ③表現力を身に付けるために、相手や目的を意識して記述する力や、複数の根拠を基に論理的に説明する力を重点的に指導します。
- ④特別の教科「道徳」では、日常的な道徳教育と結び付けて、多様な考えを認めながら価値理解を深め、自己や友達の良さを感じることができるよう授業改善を進めていきます。

《チャートの特徴》

各項目の肯定的回答の割合について、以下のようなことが言える。

- ・国語・算数の正答率、算数への関心においては、全国を上回っている。
- ・国語への関心、規範意識においては、全国とほぼ同じである。
- ・自己有用感、対話的な学びにおいては、全国をやや下回っている。
- ・主体的な学びにおいては、全国を下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・家庭学習では、自ら学習する習慣や、学習した内容が身に付いているか確かめてください。
- ・登校時刻を守ること、自分で身支度をすることなどの生活習慣が、学力を身に付ける土台となります。
- ・読書への関心が、学習意欲につながります。図書館を活用して、親子で読書を楽しむ機会を作ってください。